

令和4年3月22日(火) 提出

無記入・日付が異なる場合は再提出となりますのでご注意ください。

(見本)

令和3年度 活動成績報告書  
調査部門団体  
総務部

部長と主将の名前が記載されていない場合は再提出となりますので注意してください。

学友会総務部 部長 \_\_\_\_\_

学友会総務部 主将 \_\_\_\_\_

日付は令和4年3月22日(月)現在とし、令和3年度の4年生の人数も記入してください。

### 1、部員数 (令和4年3月22日(火)現在)

16名 (4年生2名、3年生4名、2年生4名、1年生6名)

### 2、活動日

第3木曜日クラブ・サークル代表者会議(対面・オンライン)

その他会議・行事によって活動(対面・オンライン)

### 3、活動行事日程

4月 日体大スポーツ第89号発行

令和3年度クラブ・サークル合同説明会

第1回クラブ・サークル代表者会議(オンライン)

5月 第2回クラブ・サークル代表者会議(オンライン)、第1回審議委員会(オンライン)

学友会春季総会(オンライン)

6月 オープンキャンパス補助学生、第3回クラブ・サークル代表者会議(オンライン)

7月 大クリーン大作戦・千葉県岩井海岸清掃(中止)、オープンキャンパス学生、プレ研修

8月 オープンキャンパス補助学生、日体大スポーツ取材、総務部研修

9月 オープンキャンパス補助学生、日体大スポーツ第90号発行・ブログ掲載

10月 第4回クラブ・サークル代表者会議(東京・世田谷キャンパス)、オープンキャンパス補助学生

11月 第54回日体フェスティバル2021、第5回クラブ・サークル代表者会議(東京・世田谷キャンパス)、大クリーン大作戦第2弾(中止)、第4回クリーン大作戦(両キャンパス)

12月 第2回審議委員会(オンライン)、学友会秋季総会(オンライン)、オープンキャンパス補助学生、第6回クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)、日体大スポーツ取材

- 1月 第98回東京箱根間往復大学駅伝競走取材(自宅観戦)、日体大スポーツ第91号発行、第7回クラブ・サークル代表者会議(オンライン)、第32回リーダーズキャンプ参加者説明会(オンライン)、
- 2月 総務部研修(オンライン)、第32回リーダーズキャンプ(オンライン)
- 3月 第32回リーダーズキャンプ(オンライン)、学友会祝勝会、オープンキャンパス補助学生

#### 4、活動行事内容報告

活動ごとに詳しく  
記入してください。

##### ①クラブ・サークル代表者会議

参加対象者である各学友会団体代表者に対し、総務部や大学事務からの情報を発信する場とする。今年度は新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえ、対面形式とオンライン形式で行なった。

第1回：学友会行事の予定について、学友会配当金に関わる参加ポイントについて、学友会総務部からの連絡方法について、日体大スポーツ 大会結果・予定について、クリーン大作戦について、第54回日体フェスティバル2021 実行委員募集について、社会貢献活動について、学友会総務部からの連絡

第2回：令和3年度学友会春季総会について、クリーン大作戦について、第54回日体フェスティバル2021について

第3回：日体大スポーツ大会結果・予定について、クリーン大作戦について、第54回日体フェスティバル2021について

第4回：日体大スポーツ大会結果・予定について、第54回日体フェスティバル2021について

第5回：第54回日体フェスティバル2021 実施報告、クリーン大作戦について、第32回リーダーズキャンプについて、学友会誌について、令和3年度学友会秋季総会について

第6回：クリーン大作戦について、日体大スポーツ大会結果・予定について、第54回日体フェスティバル2021について、令和3年度学友会祝勝会について、第32回リーダーズキャンプについて、学友会団体の取り扱いについて

第7回：日体大スポーツについて、令和3年度学友会祝勝会について、社会貢献活動について、令和3年度学友会活動成績報告書について

## ②審議委員会

年に2回、学友会規約の準拠に関する事、各クラブ・サークル同好会の部則及び会則に関する事、その他学友会の目的達成に必要な事項等について学友会執行部と総務部部員で審議を行なった。

第1回：2020年度学友会活動報告、第31回リーダーズキャンプ実施報告、2020年度学友会収支決算報告、学友会における基本姿勢・基本方針について、令和3年度予算案、令和3年度収支予算案、令和3年度総務部活動費予算案、令和3年度特別活動費予算案、令和3年度日体大スポーツ予算案、学友会内規改正について、令和3年度学友会活動計画、クリーン大作戦について、令和3年度日体大スポーツについて、第32回リーダーズキャンプについて、令和4年度学友会祝勝会について

第2回：令和3年度上半期学友会活動報告、クラブ・サークル合同説明会実施報告、第54回日体フェスティバル2021実施報告、令和3年度下半期学友会活動計画、第32回リーダーズキャンプ実施計画、令和3年度学友会祝勝会実施計画、学友会団体の取扱いについて、学友会組織の改変について、各種規程・内規の改正について、令和4年度学友会総務委員会役員等候補について

## ③学友会総会

学友会における事項及び規約・会計並びに大学の支援に関する事を行う最高議決機関である総会の運営・進行を行う。例年の出席対象者は部長及び各団体学生代表者4名(主将・副主将・主務・会計の学生責任者又はそれに準ずる者)としているが、今年度は各団体から1名に出席していただいた。

春季総会は団体の代表者に資料を送付し、承認の返答をもらう形に、秋季総会はMicrosoft Teamsを活用して行なった。オンラインで実施の際は、決議の際には『手を挙げるの機能』を使用し、視覚的に分かりやすく、出席者全員が総会に参加し決議を行う。

春季総会：令和2年度学友会活動報告、第31回リーダーズキャンプ実施報告、令和2年度学友会収支決算報告、令和3年度収支予算案、日本体育大学学友会規

## 約改正について

秋季総会：令和3年度上半期学友会活動報告、クラブ・サークル合同説明会実施報告、第54回日体フェスティバル2021実施報告、令和3年度下半期学友会活動計画、第32回リーダーズキャンプ実施計画、令和3年度学友会祝勝会実施計画、学友会団体の取扱いについて、学友会組織の改変について、各種規程・内規の改正について、令和4年度日本体育大学学友会総務委員会役員等候補について

### ④クリーン大作戦・大クリーン大作戦

地域貢献活動・社会貢献活動の一環として、学友会団体が両キャンパス周辺・日体大生が主に使用する地域で清掃活動をするクリーン大作戦の運営を年7回行なっている。この活動は、清掃による地域貢献だけでなく、学生の美化意識の向上や日体大生がどのような学生なのか地域住民や世間に公開し、より良好な関係を築き上げることを目的としている。昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされたクリーン大作戦だったが、今年度は感染状況を踏まえ2回実施した。しかし、大クリーン大作戦は中止となった。



▲クリーン大作戦の様子

### ⑤総務部研修

令和3年8月23日・令和4年2月10日にMicrosoft Teamsを活用し総務部研修を行った。今年度は夏期と冬期で2回に分けて研修を行なった。夏期研修では、資料を作成する際に必要不可欠であるスキルの体得を目指した。また、パワーポイントを使用し自分史の発表を行なった。ここでは自己表現力の向上ができたとともに、部員の歩んできた人生を知る良いきっかけとなった。冬期研修では昨年度に引き続きオンラインで行われるリーダーズキャンプのリハーサルを行なった。オンラインでの実施に関して不透明な点が多かったことや1年生のファシリテーションの練習の場として活用したが、非常に有意義でありリーダーズキャンプを成功に導くことができた大きな要因となった。

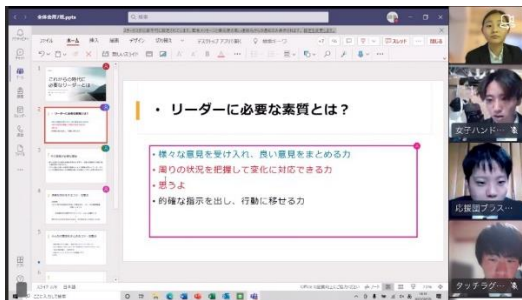


このように活動が分かるような写真や説明を添付してください。

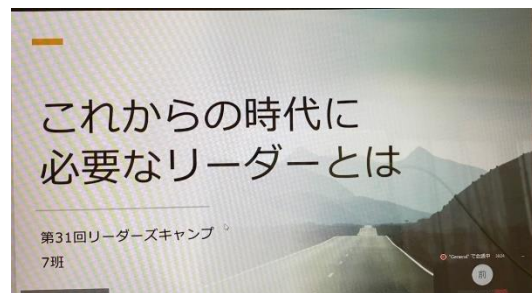
▲総務部研修の様子

## ⑥リーダーズキャンプ

令和4年2月28日、3月1日に Microsoft Teams を利用し、参加団体を2日間に分けて実施。約100名の各クラブ・サークルの次年度主将や次年度副主将を対象に、リーダーについて考える時間を設けた。このリーダーズキャンプは、質の高いリーダーの育成、リーダー同士の親睦を深めることを目標に運営しており、参加者は16班に分かれ「リーダーの三原則とは」というテーマで分科会を行い、各日の全体会にて班で話し合った内容を発表した。オンラインでの実施は、内容と時間の配分など直前まで検討を重ねていたが、どの班でも対面に近い質での話し合いが行われ、オンラインであってもリーダーズキャンプを実施したことに大きな意義を感じた。



▲分科会の様子(写真は昨年度もの)



▲全体会での発表の様子(写真は昨年度のもの)

## ⑦日体大スポーツ(学生新聞)

今年度は第89～91号を発行した。日体大スポーツでの取材対象は本学学友会団体とし、購読対象は、本学学生・保護者(保護者会より郵送)・その他関係者としている。第89～91号は10,000部を発行。例年発行している夏季と冬季の号に関しては新型コロナウイルスの感染症の影響を受けつつも、今年度は紙面発行とブログ掲載を並行して行った。発行した号は両キャンパスの学生食堂前や学生支援センター、図書館等に設置し、多くの学生の手に渡る環境を作っている。

## ▼2021年度日体大スポーツ取材実績

アメリカンフットボール部、ソフトテニス部、ソフトボール部、体操競技部、卓球部、ダンス部、トランポリン競技部、バスケットボール部、バレーボール部、ハンドボール部、ボクシング部、ライフセービング部、ラクロス部、陸上競技部、レスリング部、チアリーダー部、ブラスバンド部、弓道部、ダブルダッチサークル、心理サポート研究会



▲新聞社(東日印刷)での作業の様子

## ⑨クラブ・サークル合同説明会

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は実施できなかったが、今年度は様々な感染対策を施し、開催に至った。合同説明会では、両キャンパスともに1教室に2~4団体に限定し、教室内の人数を調節した。5日間行なった説明会では多くの新入生が参加した。「入部するクラブを決定するきっかけができた」との感想も挙げており、大変な状況の中であったが、開催できて良かったと思う。ミニ発表会では、例年のような対面形式の発表会開催は叶わなかったが、YouTubeにて各団体からいただいた動画を公開し、ネット上で視聴できる環境を整えた。来年度は、今年度反省で挙げた「新入生への開催周知」を重点的に修正し、さらに良い説明会ができるよう精進していきたい。



▲合同説明会の実施ポスターと面談ブースの様子



## ⑩第 54 回日体フェスティバル 2021

昨年度は中止となった日体フェスティバルだったが、今年度は事前予約制など様々な感染対策を講じて開催された。模擬店やスポーツ大会など例年の目玉企画が中止となった中、桜新町商店街とのコラボ企画や、オリンピック・パラリンピック展示、日体大スポーツの展示など本学ならではの企画を開催し、大盛況のうちに終わった。制限がかかった中で今年度学んだ運営のノウハウを来年度のフェスティバルに活かし、さらに日体大の良さを追求したフェスティバルを開催できるよう尽力していきたい。



▲第 54 回日体フェスティバル 2021 の様子

大会名や順位、活動内容なども具体的に記入してください。

### 5、次年度の活動目標等

新型コロナウイルス感染症は昨年度より落ち着き、少しずつではあるが対面での事業展開ができるようになっていったが、年間を通して感染状況が安定せずオンライン形式と並行して事業を行なった。昨年度行うことのできなかった代表者会議の対面開催ができたことは 1 つの大きな収穫であり、対面・非対面での会の実施方法を確立できたことも来年度に繋がる要素となった。しかし、オンラインでの運営に関して、各団体への周知や、チームへの招待の部分で連絡が遅くなってしまったり、直前まで会の実施形態等を決めかねていた部分もあったので、部長や職員さんとの連絡を密にし、常に最善の運営を目指していきたい。作成する資料に関しては、赤字を 2 回以上行い、皆様の混乱を招くことの無いよう、明瞭で正確なものを作成できていた。この点に関しては、来年度以降も継続して取り組んでいきたい。審議委員会では今年度は議題が多数あり、会議直前まで資料の作成等が間に合っていなかったため、計画立てを綿密に行い、焦りを生むことの無いように心がけていきたい。

クリーン大作戦では、2 回の開催に留まったが地域の美化活動に貢献できて良かったと思う。地域を活性化させるためにさらに質の高い美化活動を行なっていきたい。大クリーン大作戦は中止となってしまったが、感染症が落ち着き実施可能となった時に備えて、今まで培ってきた運営方法を下の代に継承していきたい。

日体大スポーツでは、昨年度は発行できなかった紙面を今年度は 2 回発行できた。東京オリンピックで活躍した日体大のアスリート取材し、紙面にできたことは大きな収穫だ



った。対面での取材も実現し、写真撮影やインタビューなどを行うことができた。文章を書く際の表現方法等の課題が残っているため、積極的に研修等を行い部員のレベルアップを図っていききたい。

合同説明会では新入生の周知の部分で課題が残ったため、オリエンテーションやチラシ等を配布し、多くの新入生が気軽に立ち寄れる運営に努めていききたい。日体フェスティバルは来年度、健志台での開催となるが、キャンパスの特性を活かした壮大なフェスティバルを行なえるよう、全員で頑張っていきたい。

以上の反省を踏まえ、改めて総務部であることを自覚し一人ひとりが学友会のために動けるような組織の構築に努めていききたい。挨拶や礼儀などの人間として当たり前のことや、報告・連絡・相談を徹底し、常に最善の判断ができるよう視野を広く持ち行動していききたい。